

总主编 谭晶华



普通高等教育“十一五”国家级规划教材

新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

# 日语阅读教程 上册

焦毓芳 季林根 编著

**前瞻性与创新性并重：**  
符合21世纪日语人才培养需要，引领中国日语教学潮流。

**代表性与权威性兼顾：**  
全国20余所高校参与编写，日语界近百位专家精心奉献。

**系统性与呼应性结合：**  
涵盖高校日语专业各类课程，形成相互呼应的有机整体。



上海外语教育出版社  
SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS



第 2 版



日本国际教育协会  
JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL EDUCATION

# 日语阅读教程

第二版





普通高等教育“十一五”国家级规划教材  
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编 谭晶华

# 日语阅读教程 上册

焦毓芳 季林根 编著

## 图书在版编目(CIP)数据

日语阅读教程.上册/焦毓芳,季林根编著.-上海:上海外语教育出版社,2015  
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

ISBN 978-7-5446-3887-6

I. ①日… II. ①焦… ②季… III. ①日语-阅读教学-高等学校-教材  
IV. ①H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2014)第266709号

**出版发行: 上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 曹 艺

印 刷: 上海华业装璜印刷厂有限公司

开 本: 787×1092 1/16 印张 14.75 字数 280千字

版 次: 2015年5月第1版 2015年5月第1次印刷

印 数: 3 000册

书 号: ISBN 978-7-5446-3887-6 / H · 1404

定 价: 32.00元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

# 总序

21 世纪是一个国际化的高科技时代，也是一个由工业社会进一步向信息社会转化的时代。科学技术的高速发展、新兴交叉学科的涌现、人文文化与科学技术间的相互渗透和融合、社会的信息化以及知识、信息传播技术的日新月异加强了世界各国文化的交流、碰撞与合作。要想在激烈的世界竞争中立于不败之地，就要占领人才培养的制高点，培养出世界一流的高素质、高水平人才。

由于社会对外语人才的需求已呈多元化趋势，以往那种单一外语专业的基础技能型人才受到挑战。今后我们仍然需要培养《源氏物语》的专门研究家，但是高校外语专业的教学必须从过去的“经院式”人才培养模式向宽口径、应用性、复合型人才培养模式转化。社会要的不光是懂外语的毕业生，还需要思维敏捷、心理健康、知识广博、综合能力强的精通外语的专门人才。

我国的外语教学界已充分认识到，对国家建设发展急需的外语专业人才加大培养力度，提高其能力和素质是一项迫在眉睫的任务。随着我国日语专业教学点设置的不断增加和招生规模的逐年扩大，日语专业本科生的教学改革、学科建设及教材出版亦取得很大的成绩，各地先后出版了一批在全国有影响的优秀教材。正因为社会对日语人才的培养提出了更高的标准，同时对日语学科的建设也提出了新的要求，因此，日语本科生教材的编写和出版也应该顺应潮流，开拓创新。

我国外语教材和图书出版的基地、领头羊之一的上海外语教育出版社（外教社）以高度的责任感和高瞻远瞩的视野，在充分调研的基础上，抓住机遇，于 2003 年 8 月邀请了全国主要外语院校和教育部重点综合大学日语专业的近 20 位专家，在上海召开了“全国高等学校日语专业本科生系列教材编写委员会会议”。代表们完全认同编写“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的必要性、可行性及紧迫性，并对编写立意、教材构建、编写审校程序提出了许多积极、中肯的建议和要求。之后，外教社又多次召开全国及上海地区专家学者会议，分头撰写编写大纲，确定教材类别、项目，讨论审核样稿。经过两年多的努力，终于迎来了第一批书稿的付梓。

本套教材共分语言知识、语言技能、语言学与文学、语言学与文化、语言学与翻译（中日对译）、人文科学、经济贸易、测试与教学法等若干板块，可以说几乎涵盖了当前我国日语专业所开设的全部课程。编写内容根据因材施教的原则，深入浅出，反映各个学科领域的最新研究成果；编写体例采用国家最新有关标准，力求科学、严谨；编写思想贯彻了在帮助学生打下扎实的语言基本功的基础上，培养学生分析和解决问题能力的原则，全面提高学生的人文、科学素养，养成健康向上的人生观，成为合格的外语专门人才。

本套教材编写委员会云集了我国日语界学者专家，其中不少是高等学校外语专业指导委员会的委员。每一种教材均由编写委员会的专家们仔细审阅后确定，有的是从数种候选教材中遴选，总体上代表了中国日语教材学发展的方向和水平。我们相信，外教社这套“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的编写和出版，一定会促进我国日语专业本科生教学质量的稳步提高，其前瞻性、先进性和创新性也将为日语教材的编写拓展更为广阔的视野。

谭晶华

上海外国语大学常务副校长

# 前言

《新编日语阅读文选》出版以来受到了广大日语学习者的厚爱，但用现在的眼光来看，选取的内容有些已经不适应时代。鉴于此，我们决定重新编写该教材，从而造就了《日语阅读教程》。

本教材分上下两册，每册 20 课，涉及日本文化、社会、经济、语言等各方面，且内容新颖，大多为反映当前日本现状的文章。每课的课时为 2 课时，可根据兴趣和需要进行选择。每课由课文、单词、语法注释、练习、日本文化小知识和参考译文等部分构成。其中练习部分，改变了原教材里只有思考题的做法，既有对语言现象的复习，也有对内容理解的巩固，还要求学生就有关课文的问题进行分组讨论，这也是本教材的新颖之处。另外，为检验学生的阅读理解水平，在每课的最后，还安排一篇读解文，难度相当于日本语能力测试 N3 到 N2 的水平。

本教材供高等学校日语专业二年级学生使用，也可以作为日语专业自学考试中相应课程的教材使用。希望通过学生学习本教材，能够丰富词汇量，拓展知识面，熟悉日语原文，提高阅读理解能力。

本教材由上海外国语大学日本文化经济学院焦毓芳副教授和季林根教授共同编写。在编写过程中我们得到了日本文化经济学院领导的关心和支持，学院同事张楠以及硕士研究生刘晓蕾、刘少琴、潘姿琳、沈亚亚、孙李理也给予了我们许多帮助。尤其是《新编日语阅读文选》的作者之一的陆静华教授退休后力荐年轻的一线教师参与本教材的编写，并无偿提供了《新编日语阅读文选》的相关资料。本教材的出版得到了上海外语教育出版社的大力支持，王俊先生付出了大量的心血。在此一并表示由衷的感谢。

由于我们的水平有限，时间仓促，在选材、编写、注释和翻译等方面难免存有不足之处，敬请各位同仁批评指正。

编著者

2015年3月

# 目 录

第1課	和服	1
第2課	緑と青の自然	8
第3課	悪口と友情	17
第4課	威厳を支えたパイプ	26
第5課	忘れたはずの記憶が甦るしくみ	33
第6課	富士登山	40
第7課	下町情緒を浅草散歩で	47
第8課	大量廃棄社会から循環型社会へ	57
第9課	子どもの個室化がもたらしたもの	64
第10課	就職「新」氷河期——親も知らない就活の真実	73
第11課	心と言葉	82
第12課	超高齢社会——新しい“縁”をみんなで創ろう	92
第13課	画家先生のプライベート	101
第14課	盲女と犬	110
第15課	きっかけ	120
第16課	「豊かさ」再考	130
第17課	ほんとうの顔	139
第18課	「コメよりパン」になった日本人の食卓	147
第19課	熟年離婚	155
第20課	言葉の構造、文化の構造	163
	参考译文	171
	惯用句	197
	参考答案	199
	单词索引	215



## 本 文

日本古来の着物を洋服と区別して、和服という。

どこの国にもその国の古来の民族衣装があるが、文化の交流が進むと多くの国で同じスタイルの服が着られるようになる。そして古くからの民族衣装は日常生活の中では見られなくなり、お祭りや儀式など限られたときにしか着られなくなる。日本の和服も例外ではない。

現代の若い日本人が和服を着る機会は非常に少ない。特に男が和服を着るのはせいぜい一生に一度の結婚式のときに、借りて着るぐらいだ。それも、和服を着なければ式ができないわけではない。

女性は男性に比較して、和服を着る機会が少し多い。日本では毎年1月15日に、20歳になった男女を集めてお祝いの式を挙げる。その日は成人の日といって、国民の祝日になっており、全国の市や町で成人式が行われるが、生活が豊かになるにつれて、式に出席する女性の和服姿がだんだん目立つようになってきた。ぜいたくがあまり非難されなくなった最近では、和服を着る人のほうが多くなっているに違いない。

男の和服は色が地味で、黒か紺か、茶色の系統が多いが、女性の和服は華やかだ。色とりどりで美しい。ただし、原色の濃いものは少ない。昔から日本の風土や気候には淡い中間色が似合ったと思われる。現代では和服はほとんど芸術品なので値段も高い。女性の和服は、安いものでも若い人の一ヶ月の給料で

古来(こらい)【名・副】自古以来  
 衣装(いしょう)【名】衣裳, 服装  
 スタイル【名】样式  
 儀式(ぎしき)【名】仪式  
 目立つ(めだつ)【自五】显眼  
 贅沢(ぜいたく)【名・形動】奢侈, 铺张浪费  
 非難(ひなん)【名・他サ】责难, 责备  
 茶色(ちやいろ)【名】茶色

系統(けいとう)【名】系统; 体系  
 華やか(はなやか)【形動】华丽  
 色とりどり(いろとりどり)【名・形動】五彩缤纷  
 原色(げんしょく)【名】原色(红、黄、蓝三色)  
 淡い(あわい)【形】淡的, 浅的  
 中間色(ちゅうかんしょく)【名】中间色  
 似合う(にあう)【自五】合适, 相称  
 芸術品(げいじゆつひん)【名】艺术品

は買えないくらいだ。

自分の和服を持っている男性は少ないが、多くの女性は成人式のときに作る。そして卒業式や、友人の結婚式などでそれを着る機会がある。ただ、女性の和服は着方が難しく、おかしい話だが、自分で着られない人は少なくない。日本の着物は着る人の体に合わせて作るのではなく、「体に合わせて着る」ことになっているからだ。

これのほかに和服を見るのは、夏祭りと旅館で使われる「ゆかた」くらいだが、もともとこれは風呂上りに着るものだった。

長い間、日本は外国との交流がなかったが、この百年ぐらいの間にヨーロッパやアメリカの文化を学び、服装も変わってきた。しかし日本人はいつも他人のまねをするだけで、みんなとちがうことができなかった。戦争の時代にはみんなが同じ色で同じ形の服を着ていた。戦争が終わって平和になってからもいつも流行に追われ、ベージュがはやればベージュ、ワインカラーがはやればワインカラーの服を着る。日本人がやっと個性のある服装で生活ができるようになったのは、ごく最近のことに過ぎない。

着方（きかた）【名】穿着方法  
夏祭り（なつまつり）【名】夏季庙会  
旅館（りょかん）【名】（日式）旅馆  
浴衣（ゆかた）【名】浴衣（一种和服）

風呂上り（ふろあがり）【名】出浴，洗完澡  
ベージュ（beige）【名】米色  
ワインカラー（wine color）【名】酒红色

## 注 釈

### 成人の日（せいじんのひ）

成人节，日本非常重要的传统节日之一。原来定于每年的1月15日。从2000年开始，日本政府将成人节的日期改为每年1月第二周的星期一。凡是年满20岁的男女青年在成人节这天要身穿传统服装，参加官方或民间团体为他们举办的成人仪式。

## ① ～ようになる

比况助动词「ようだ」的连用形「ように」前接动词连体形,后续动词「なる」时,表示事物的演变的结果。意为“变得……”。

- 文化の交流が進むと多くの国で同じスタイルの服が着られるようになる。  
随着文化交流的开展,很多国家的人都穿起了同样款式的服装。
- 以前はよく遅刻したが、この頃は授業の始まる20分前には教室に行けるようになった。  
以前我经常迟到,最近能提前20分钟到教室了。
- 今までは全然旅行に出られなかったが、この頃母が子供の面倒を見てくれるので、私も旅行に出られるようになった。  
以前我根本不能出去旅行,最近我母亲来帮我照看孩子,所以我也能出去旅行了。

## ② せいぜい～ぐらいだ

「せいぜい」表示“虽有限度,但尽其极致”的意思。常以「せいぜい～ぐらいだ」的形式出现。相当于中文的“充其量”、“顶多”的意思。

- 特に男が和服を着るのはせいぜい一生に一度の結婚式のときに、借りて着るぐらいだ。  
特别是男性穿和服,充其量也就是在一生一次的婚礼上借来穿一下而已。
- ふるさと言われて思い出すことと言えば、せいぜい秋祭りくらいですね。  
说到家乡,我能回忆起来的顶多是秋天的丰收节了。
- 忘年会と言っても、せいぜいみんな集まって外で夕食をするぐらいで、たいしたことはしない。  
说是说忘年会,也就是大伙儿一起在外面吃顿晚饭,没什么大不了的。

## ③ ～ことになっている

「ことになっている」接在动词连体形后面,表示约定、日常生活中的规定、纪律或惯例。意为“定(规定、预定)为……”。此外,还可以表示某种情况的现状,课文中的用法属于这一种用法。

- 日本の着物は着る人の体に合わせて作るのではなく、「体に合わせて着る」ことになっている。

日本の和服并不是根据穿衣人的体型来缝制的，而是合着体型来穿的。

- 来週の水曜日に北京に行くことになっている。

预定下星期三去北京。

- 来年の春に大学を卒業することになっている。

预定明年春天大学毕业。

#### ④ ～に違いない

常用于书面语。前接名词、动词终止形，表示说话人以某事为依据做出非常肯定的判断。与「だろう」相比较，说话人的确信程度要更强一些。相当于中文的“一定是……”、“肯定是……”的意思。

- ぜいたくがあまり非難されなくなった最近では、和服を着る人のほうが多くなっているに違いない。

如今，铺张浪费也已不再遭人非议，想必穿和服的人一定很多。

- あんなにすばらしい家に住んでいるのだから、小林さんは金持ちに違いない。

小林住在那么高级的房子里，一定很有钱。

- 彼の嬉しそうな顔から見れば、きっと何かいいことがあるに違いない。

看他一脸高兴的样子，肯定有什么开心事。

#### ⑤ ～にすぎない

该句型由动词「すぎる」的未然形接否定助动词「ない」，前接格助词「に」构成。「に」表示限定的范围。相当于中文的“只不过是……”。

- 日本人がやっと個性のある服装で生活ができるようになったのは、ごく最近のことに過ぎない。

日本人终于在生活中穿起有个性的服装，这不过是最近的事。

- 家は私にとって寝るための空間に過ぎない。

家对我来说，只不过是一个用于睡觉的空间。

- 私が言ったのは冗談に過ぎなかったのだが、友達はそれを本気にしてしまった。

我只不过是开了一个玩笑，而朋友却把它当真了。

## 練習問題

### 一、語彙問題

次の説明を読み、与えられたヒントに従って、本文から意味の合った言葉を書き出さない。

- ① できるだけ多く見積もってもその程度であるさま。(副詞)
- ② 花が開いたように、明るく人目をひきつけるさま。(形容動詞)
- ③ 一定の作法にのっとって行う、あらたまった行事をする。(連語)
- ④ 色や味などが際立たず、薄い。(形容詞)
- ⑤ ちょうどよくつりあう。調和する。(動詞)
- ⑥ 二つ以上のものを一つにする。(動詞)

### 二、確認問題

本文の内容に基づいて、下記の質問に答えなさい。

- ① 男性はどんなときに和服を着るのか。
- ② 古来の民族衣装が現在あまり見られなくなったのはなぜか。
- ③ 和服を着ることを贅沢だと非難する時代があったが、それはなぜか。
- ④ 女性の和服にあまり濃い原色を使わないのはなぜか。
- ⑤ 日本人はなぜいつも流行に追われるのか。
- ⑥ 浴衣とは、どのようなものだろうか。

### 三、応用問題

日本語では、色がたくさんあるが、本文では、黒、紺、茶色、ベージュ、ワインカラーなどがあげられているが、そのほかには、どのような色があるかを挙げなさい。中国語での言い方も覚えなさい。

### 四、グループ活動

いくつかのグループに分けて、中国と日本の祝祭日のことを調べて、プレゼンテーションしてみなさい。

## 五、課外問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

子どもの授業参観に行つて驚いたことがあります。先生が、ある問題について「どう思いますか」と質問すると、生徒たちが手を上げて、指された生徒が答えた。次に、「他の人は」と先生が聞くと、またみんなが手を上げ、別の誰かを先生が指します。すると、その生徒がさっきの生徒と同じことを答えたのです。そうやって次々に何人もの生徒がみんな同じ答えをしました。これには私、びっくりしました。同じ答えなら言わなくてもいいのにと思うのですが、先生は①それを期待しておられるようでした。むしろ別の答えが出てくると困ってしまうのかもしれない。

しかし、無理しても別の答えを出すこと、あるいは人と同じことは言わないことが、大事だと私は思います。クラスが40人いたら、40通りの答えがあるべきです。先生には「( ② )」と聞いてほしかった。そして、もし出てきた別の答えが間違っている、それはおもしろいね、とまずほめて、しかし、ここの部分は考え直してみたらどうでしょうか、ここに無理があるかもしれない、言っていただけならと思いましたね。

問1 下線部①「それ」は何をさしているか。

- A 生徒がみんな同じ答えを言うこと
- B 生徒がみんな違う答えを言うこと
- C 他の生徒と同じ答えのときは手を上げないこと
- D 他の生徒と違う答えのときは手を上げないこと

問2 ( ② ) に入る文として、最も適当なものはどれか。

- A 別の答えはありませんか。
- B だれの答えが正しいですか。
- C 同じ答えの人はいませんか。
- D まだ答えていない人はいませんか。

問3 筆者は学校の先生にどうしてほしいと思っているか。

- A 生徒が違った答えを出したら、すぐ直してほしい。
- B 生徒の答えが他の生徒と同じ答えでもほめてほしい。
- C 生徒に人と違う答えを出すことを勧めてほしい。
- D 生徒に正しい答えだと思った時だけ答えるように言ってほしい。

### 風呂敷

四角い絹・木綿・麻などの布で、物を包んで持ち運ぶのに使う。新聞紙のいっぺんの長さを正方形にしたぐらいのことが多い。使わないときは小さく折り畳むことができるので、今も愛用する人が多い。

もともとは、風呂屋に行く際に用具を包んで持ち運び、入浴するとき衣類を包んでおいたり、入浴後に足ふきとして敷いたりしたため風呂敷という名称が生まれた。

30年ぐらい前までは、高級な材料で美しいデザインの風呂敷は贈り物にも使われ、着物姿のアクセサリ的な役割も果たしていた。

四角い(しかくい)【形】四角形的, 方的  
木綿(もめん)【名】棉布; 棉织品  
麻(あさ)【名】麻, 麻布, 麻纤维  
一片(いっぺん)【名】一张, 一片  
正方形(せいほうけい)【名】正方形

折り畳む(おりたたむ)【他五】折叠, 叠  
愛用(あいよう)【名・自サ】喜欢用, 爱用, 常用  
用具(ようぐ)【名】用具, 工具  
アクセサリ【名】装饰物

## 第2課

# 緑と青の自然

### 本文

日本人の誰かに「自然の色は何色？」と尋ねてみてごらん下さい。どんな答えが返ってくると思いますか。世界各国の人にこの質問をしてみると面白いと思うのですが、日本人の場合一番多い答えは「緑」、続いて多いのは「青」だそうです。

緑という色は、木や草の色です。「自然の色は？」と問われて、日本人の多くが「緑」と答えるのは、日本人が植物の多いことを自然の姿としてとらえていることによると思われます。同時に、日本の国土が緑の植物に覆われていることを物語っていると言っていいでしょう。事実日本列島は、温帯特有の適度な日照りと降雨に恵まれて、植物の成育に適しています。ですから、日本人は昔から、衣食住の材料を植物に頼ってきたのです。

まず衣服は、長い間麻や木綿といった植物繊維が主な材料でした。次に食品ですが、これも昔から植物性のものが主流を占めてきました。ご存知のように、現在でも、米・味噌・醤油などは欠かせないものですね。長い間米や麦や豆などを作る農耕が、日本人の暮らしの中心になってきたということも当然のことでしょう。では、住居はどうでしょう。本来、日本建築は、戸外と屋内の区別が極めてあいまいでした。

問う(とう)【他五】問, 打听; 追问  
捕らえる(とらえる)【他一】捉拿, 抓住; 领会  
国土(こくど)【名】国土  
覆う(おおう)【他五】覆盖, 蒙上, 掩盖  
事実(じじつ)【名】事实  
温帯(おんたい)【名】温带  
特有(とくゆう)【名・形動】特有  
適度(てきど)【名・形動】适度  
日照(にっしょう)【名】日照  
降雨(こうう)【名】降雨

成育(せいいく)【名・自サ】发育, 成长  
頼る(たよる)【自五】依靠, 借助  
衣服(いふく)【名】衣服  
木綿(もめん)【名】棉布; 棉花  
繊維(せんい)【名】纤维  
主流(しゅりゅう)【名】主流  
農耕(のうこう)【名】农耕  
本来(ほんらい)【副】本来  
戸外(こがい)【名】户外  
屋内(おくない)【名】室内



無論、外部とは壁で仕切ってはありますが、ふすまや障子を開け放してしまえば、家の内と外の区別はほとんどなくなってしまいます。このことは、家の内から庭の草木を眺め、虫や鳥の声に耳を澄ますというように、絶えず身近に自然を置いて自然と親しんでいたいという願いが、住居の形に表れたものなのです。西洋建築が、壁で四方を囲んで、外界から完全に遮断した、人間だけの城を造っているのと対照的です。

では、自然の色は青と答えた人たちは、何を思い浮かべたのでしょうか。きっと晴れ渡った日本の大空の青さ、海の色、水の清さ、豊かさを思ったに違いありません。

水といえば、風景の美を表すのに「山紫水明」という言葉がしばしば登場します。「水明」は文字通りですが、「山紫」というのはどういうことでしょうか。先にも触れましたが、日本の山野は緑に覆われていました。その緑の山が紫の山に見えるというのですから、それには訳があるのです。それは「かすみ」のいたずらです。日本の国土は湿りが多いですね。ですから空気中の湿気がベールのような働きをして、鮮明な緑の山をくすんだ紫色に変えてしまうというわけです。つまり、日本の自然は、強烈な原色の時よりも中間色の時のほうが多いということになります。

言うまでもありませんが、水と植物は、人間の生命に欠くことのできないものです。水と植物を人間の生きるための大切な資源と見たとき、この二つの資源が豊富であるということが、日本列島は人間の暮らしにまことに恵まれた土地であるということを知ることができます。その上に、中間色に和らげられた自然の風物が人間を取り巻いているのですから、日本人はずんぶんと自然に恵まれた民族だと言えましょう。

もちろん日本にも自然の災害はいろいろありました。地震・大水・大風・日照りと

仕切る(しきる)【他五】隔开  
開け放す(あけはなす)【他五】(门窗)大敞  
大开  
絶えず(たえず)【副】不住地  
身边(しんぺん)【名】身边  
親しむ(したしむ)【自五】亲近  
建築(けんちく)【名】建筑  
四方(しほう)【名】四方, 四周  
囲む(かこむ)【他五】围绕  
外界(がいがい)【名】外界  
遮断(しゃだん)【名・他サ】遮断, 隔断  
城(しろ)【名】城  
対照(たいしょう)【形動】鲜明对照  
思い浮かべる(おもいうかべる)【他一】回想起,  
浮现在脑海  
晴れ渡る(はれわたる)【自五】晴朗

清い(きよい)【形】清澈; 清洁  
登場(とうじょう)【名・自サ】登台; 上市  
山野(さんや)【名】山野  
紫(むらさき)【名】紫色  
悪戯(いたずら)【名】淘气; 恶作剧  
風土(ふうど)【名】风土, 水土  
湿り(しめり)【名】湿气  
ベール(veil)【名】面纱, 垂纱  
鮮明(せんめい)【名・形動】鲜明, 清楚  
くすむ【自五】(颜色等)不鲜明, 发暗  
強烈(きょうれつ)【形動】强烈  
欠く(かく)【他五】缺少, 欠缺  
和らげる(やわらげる)【他一】使…柔和  
風物(ふうぶつ)【名】风景, 景物  
取り巻く(とりまく)【他五】包围  
日照り(ひでり)【名】阳光(强烈)照射; 干旱